

(赤字は、坂井さんのコメントに対する返信です)

多田さんありがとうございます。

能登における子育ての現状 まとめてもらえて大変嬉しいです！こういう図式になると見えてくるものがありますね。

*こちらこそありがとうございました。子育て問題の一部を感じることができましたが、能登独特の環境でもないような気がします。近所付き合いの薄れた都会のまちにも通ずる現状も含んでいると思いました。

この図は、移住者の悩みを中心にしたように見えますね。この図に元々住んでいる人たちの悩みや意見なども取り込んでも良いのかもしれません。

1) 子育て情報が入らない

「子育て情報が入らない」→「子育て支援情報が入りにくい」

に修正お願いできるとこちらの行政の方にも見せやすい感じがします。

市は広報を出しています。またイベントチラシを支援センターに貼ってます。珠洲の場合は子育て支援センターが市のHPからチラシPDFをDLできるようにしています。ここがデータにできるのではと思います。そして毎月1日発行なのでその数日後のイベントなどは調整しにくい。早めにお知らせしてもらえるようになるといいですね。

*「子育て支援情報が入りにくい」に修正しました。

PDF版があるのですから、子育て情報収集機能はあるということですね。少し工夫するとデータとして扱える可能性がありますね。

野々市の広報誌も毎月1日発行ですが、イベント情報などは発行月の15日から翌月15日以降を目途にイベント情報を収集しています。1日に発行しても、市民の手元に届くのは1～2週間遅れてしまいますので。

行政の担当者に直接意見してもなかなか対応できないと思いますので、行政改革審議会などの公の場で意見を述べるのが有効だと思います。議会は閉鎖的でしょうが、行政は公式の場の市民の声は無視できません。(そのような公の場があるかどうかは問題ですが・・・)

2) 行政の支援形骸化

そのとおりなんです！しかし自分のこれまでの経験上、ズバっと本音を言うと逆に壁が厚くなるというか守りが高くなる印象がこれまでにあります。なのでついやわらかい表現を私は意識するのですが・・・

「孤立した人が見えない」→「孤立した人が見えにくい」or「見えない孤立した人がいるのでは？」ぐらいが伝わりやすいような気がします。

本音では「孤立しがちな母親に寄り添う相談員のスキル向上が必要」とか、言いたいのですが。「既にちゃんとやってます」と返されそうな気がします。

*「行政の支援体制が定型化している」、「見えない孤立した人たちがいるのでは？」と

しました。

行政職員は、事務職で2～3年で異動しますので、相談員などの専門的なポジションは、得てして保育経験のある臨時職員である場合が多いと思います。その人たちと本音で話せる場をつくるといいかもしれませんね。

3) 支援者層の連帯

このペーパーを拝見していて思い出したのですが、珠洲市、輪島市、穴水町、能登町の子育て支援者層同士の連携の場が無いと思います。

これは日本全体的にそういったことをする必要性は無いと思われているかもしれませんが、車で1時間ぐらいで行けるところの魅力的な支援イベントなどは行政区分が離れていても共有した方がいいのではないかと思います。たとえば輪島の子育て支援センターの情報を見たければ珠洲の人は輪島に行って紙をもらう必要があります。一昨年だけ、輪島の支援センターからFAXを送ってもらって珠洲の支援センターでも掲示してくれるようになったのですが担当者が代わったせいか、年度超えては続いていません。

ペーパーのどこかに「支援者層で支援情報が共有されていない」と加えたいところです。ちなみに「みらい子育てネットAブロック」は支援センターのスタッフは参加していませんよね、縦割りの的には区分が違うからでしょうか。

*「支援者層で支援情報が共有されていない」というキーワードは、具体的にどんな支援情報が必要なのかわからないので盛り込んでいません。1)と同じように、みなさんで考えてみましょう。

4) その他思いついたこと

白山市の委託をうけてNPO あさがおが運営する子育て広場は、とてもスタッフの教育が行き届いていてます。NobadysPerfectのお父さん版なんかも推進してるようです。ここの代表の川村先生とつながれるといいかもしれません。お誘いすれば参加してもらえそうな気がします。

子育て支援財団の山本さんも相談に乗ってくれるかも。

*市が動かないなら、直接県や他団体と情報交換するのも大事だと思います。

とりいそぎ以上です～

追記：「子育て支援者層」は行政の方や支援センターのスタッフさんのことです。

ベテランお母さんという支援者層はいないことを前提にしていました。でも実は能登にもいらっしゃる！UDCで山上さんとお話できて大変嬉しいことでした。

珠洲や穴水に引っ越してきた方だって山上さんとすぐにつながれたらいいですよ。そういうしくみほしいですね。

*行政の子育て支援層は、法律や条例に法って「仕事」として事業が遂行されますので、その境界より外の事業などに手を出すことはなかなかできません。また、感情的には応援したくてもグレーゾーンの場合などは、予算の有無によっても判断されますので、どうし

でも杓子定規な対応になってしまいます。

でも、行政とは「そんなもんだ」と割り切ってしまい、自分たちでできることは自分たちでやって、行政にしかできない部分は行政を説得することが大事だと思います。

行政職員も市民です。腹を割って話せば、何か解決方法の糸口が見えると思います。

* 2箇所の文言の修正だけしかできませんでしたが、図のファイルを送付します。

Macのパワーポイント互換ソフト作成していますので、フォーマットが崩れるかもしれませんが、悪しからず。